

研究に関するお知らせ

研究課題名：新型コロナウイルス感染症後遺症に対する

リハビリテーション効果の検討

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 総合感染症科では、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

新型コロナウイルス感染症に罹患した後に、いわゆる後遺症として 倦怠感、呼吸困難、咳嗽、脱毛など様々な症状が持続する例が知られていますが、そのような症状の病態生理や自然経過、適切な治療法についてはほとんど知られていません。

そこで本研究では コロナ後遺症として倦怠感や呼吸困難の病態や症状を改善させる方法について知見を得ることを試みます。方法としては 上記症状を訴える患者がリハビリテーション目的に入院加療を受けた経過を診療録の記録で確認し、院時の臓器障害の程度や 入院時とその約6週間後における改善の度合いを解析します。

■研究期間

倫理審査委員会承認後～2022年12月31日

■研究の対象となる方

2021年1月1日～2022年12月31日に 当院でコロナ後遺症に対するリハビリテーション入院を受けられた方。

■研究に用いる試料・情報の種類

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報（年齢、性別、既往症、画像検査、血液検査、生理検査、リハビリテーションの成績等）を 研究に使用させていただきます。使用に際しては政府が定めた倫理指針に則って個人情報情報を厳重に保護

し、研究結果の発表に際しても個人が特定されない形で行います。

■利益相反について

利益相反の状況についてはNCGM利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体および研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。

ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。

ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 総合感染症科 稲田 誠

■お問い合わせ先

国立研究開発法人国立国際医療研究センター

総合感染症科 医師

稲田 誠

電話番号：03-3202-7181（代表） 受付日時：月-金 9:00 ～ 17:00

■掲示場所・交付場所

国際感染症センターホームページへの掲載

<http://dcc.ncgm.go.jp/information/index.html>